



は っ と り 服部のりふみ

みなさんと一緒に、希望のもてる地域づくりを進めます！



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

今年もコロナ禍の影響で、これまでは様々な制約のもと、我慢の生活を強いられてきていますが、ワクチンの接種も間もなく始まり、ようやくコロナの収束の兆しも見え始めた今日この頃です。

議会においては、今年に入りコロナ対策関係で、第1回の臨時議会が開催され、第2回議会定例会では、新年度当初予算の審議が主な内容で開催されました。新年度は市長の2期目のスタートの年でもあり、総合計画の後期計画、第二期総合戦略、第四次行財政改革大綱など、市の重要な計画のスタートとなる節目の大事な年でもあります。その分、議員としての責務も大きなものがあると考えていますので、皆さんと共に考えよりよい恵那市を目指して頑張りたいと考えています。

第1回議会臨時会の内容及び議決内容

2月16日、議会本会議が開催され、新型コロナウイルスに係る緊急対策経費として、一般会計の補正予算6億3,220万9千円の追加が上程され、全会一致で可決されました。その主な内容は次のとおりです。

- ・子供の学習支援・生活支援に要する経費（卒業式、卒園式の縮小に伴う式典の映像化経費）
- ・市民生活の安全確保と支援に要する経費（新型コロナウイルスワクチン接種に必要な経費）
- ・市内企業、事業所を支援する経費（カットく第3弾、小規模事業者支援（国対象外事業者）、テイクアウト応援経費など）

第2回議会定例会の内容

2月15、16日	議会全員協議会	議案等の説明が、担当課長からありました。
2月25日	議会本会議（議案上程）	執行部から38件の議案が上程され、内、人事案件の2件が承認、その他36件と請願1件が常任委員会へ付託されました。
3月2日	総務文教委員会	11件が承認されました。（所管部分承認2件）
3月3日	市民福祉委員会	20件が承認されました。（所管部分承認2件）
3月4日	経済建設委員会	10件が承認されました。（所管部分承認2件）
3月11日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた補正予算7件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。
3月17日	一般質問	安藤直実、秋山佳寛、佐々木透、柘植孝彦、猿渡南江、中嶋元則、伊藤勝彦の7名が登壇
3月18日	一般質問	服部紀史、平林多津子、町野道明の3名が登壇
3月22日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた30件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。

議決内容（主なもの）

条例の一部改正（14件）

主な内容は、市役所の組織変更（情報に関するものを総務部へ変更）、地籍調査成果交付手数料の改定（1枚300円とし加算は無し）、恵那病院に新たな診療所科目として脳神経外科を追加、国民健康保険料の改定（軽減判定基準額を10万円へ引き上げ他）、介護保険料の改定（基準額で月額125円の増）などです。

条例の廃止（2件）

飯峽会館、ふるさと富田会館を、地域へ無償譲渡することに伴い条例を廃止するものです。

その他の議案（3件）

道路改良の契約変更と飯峽会館、ふるさと富田会館の地域への無償譲渡に伴う財産処分（無償譲渡）の承認です。



飯峽会館



ふるさと富田会館

人事案件（2件）

副市長を大塩康彦氏（明智町）とする選任同意（再任3期目）と、人権擁護委員を千藤彰将氏（東野）とする選任同意です。

補正予算（7件）

一般会計ほか6会計で事業精算等による令和2年度の補正予算で、補正予算の合計額は、10億498万3千円（補正後の全会計の予算額は、570億4,574万円）です。

新年度当初予算（10件）

1. 一般会計（+1.8%）
2. 国民健康保険事業特別会計（+0.4%）
3. 介護保険事業特別会計（+3.5%）
4. 遠山財産区特別会計（-）
5. 上財産区特別会計（-）
6. 後期高齢者医療特別会計（+0.5%）
7. 水道事業会計（△4.8%）
8. 下水道事業会計（△8.0%）
9. 病院事業会計（+4.6%）
10. 国民健康保険診療所事業会計（△1.9%）

<重点事業>

- ・コロナ禍における事業者の事業継続の支援
- ・コロナ禍における高齢者のフレイル対策としての外出支援
- ・コロナ終息後の観光客受入体制の整備
- ・安心で魅力ある学校給食施設を目指した環境の整備
- ・市内に新電力合弁会社を設立（市は1千万円を出資）
- ・ケーブルテレビで河川情報（水位等）の配信を開始
- ・恵那峡SAにスマートインターを設置するための検討調査
- ・ICT教育推進のためにICT推進員を配置
- ・サテライトキャンパス実現に向けた構想策定

<町内の主な事業>

一色川、吉田川の上流部分の堆積土砂の除去、旧岩村振興事務所活用調査、打杭ため池、姥ヶ洞ため池の補強整備など

10会計全ての当初予算額の総計は、473億5,390万円で、前年度比較4億3,600万円増、0.9%増です。

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われています。

今回の一般質問は、私の政策テーマであります「希望のもてる地域づくり」の第二弾として、「人口減少を受け入れた地域づくり」について一般質問を行いました。以下に主な質問と、執行部からの答弁を抜粋して紹介します。

人口ビジョンの活用について

質問 1 まち・ひと・しごと地方創生人口ビジョンを策定する目的は何か。そして市民への周知はどのように行うのか。また、人口ビジョンを積極的に活用し、市民意識を変えるツールとしてはどうか？

回答 1 策定の目的は、人口減少をめぐる問題や地方創生の観点から、人口の現状と将来展望の方向性を示し、住民との認識の共有を図りつつ、今後、特に重点的に取り組むべき施策の立案に活用するものであり、人口ビジョンのみをもって市民へ向けての説明資料とする考えはないが、折を見ながら資料として活用していきたい。(まちづくり企画部長)

第二期総合戦略の施策展開について

質問 2 第一期と第二期総合戦略における変更点や特徴、特に重要と考える施策や事業は何か。また、少子化対策では「若い世代の希望」を叶えることが特に重要と考えるが、その内容をどのようにとらえているのか、またその対策は？

回答 2 変更点は、国の総合戦略に示された6つの目標を基本に策定した点で、特徴としては、市長が掲げる「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の視点を施策に取り組み、施策や事業についてよりイメージが湧くよう具体的な内容を記載した点である。「若い世代の希望」については、市民意識調査で「子育てに対する経済的な支援の充実」が上位にあり、今後、検討を要する事項であると考えている。(まちづくり企画部長)

人口減少に伴う周辺部対策について

質問 3 周辺部の地域では自治会存続の危機が顕著であり、自治会の維持、存続に関する対策や、総合計画の後期計画で施策として追加された「担い手」の中身は何か？

回答 3 自治会加入率の低下が深刻で、現在は70.2%である。特に、岩村町63.7%、大井町63.8%、長島町64.4%が低い。既に自治会の再編を実施した地域や、地域計画に課題として位置づけ取り組みが実施されている。「担い手」の内容は、“地域コミュニティを守り、活かす”取り組みとして地域自治の体制整備を掲げ、地域と共に時代に即した自治会のあり方を検討していきたい。(まちづくり企画部次長)

質問 4 土砂災害特別警戒区域の指定状況と、建替え等の場合、土砂崩れに耐えうる構造とする必要があるため、多額の費用が必要で転居に繋がり過疎化が一層進展する要因にもなっているが、支援等の考えは？



回答 4 現在、市内では令和元年度から令和3年度にかけ2巡目の指定事務が県により進められており、平成20年度から平成26年度に指定された1巡目の指定の962箇所に加え413箇所(岩村町では38箇所)が追加指定されつつある。住居の建替え等の支援については、移住定住の疎外の要因となっているようであれば、効果を勘案し地域の意見や他市の状況を参考に有効な手段を検討していきたい。(総務部長)

いかにして、上手く地域を縮小させるのか

質問 5 周辺地域における小さな拠点整備の取り組み状況や、今後の予定及び空家活用を中心とした住宅施策からもう一步踏み込んだ住宅施策の考えは？

回答 5 残念でしたが、時間切れで質問できませんでした。次回以降で機会がありましたら質問したいと思います。

議会を終えて

今議会は、新年度に向けての議案が盛り沢山で、特に当初予算の読み解きにかなりの時間が裂かれました。

新年度の予算では、かねてから課題でありました、旧岩村庁舎(旧振興事務所)の跡地利用の調査費として2百万円が計上されました。この関係は、昨年、地域自治区から活用に関する要望が提出されていたもので、いよいよ具現化に向けて動き出すこととなりました。また、これも長きに渡り地域で検討が重ねられてきました、飯峡会館とふるさと富田会館が、認可地縁団体を組織し、無償譲渡を受けて地域で活用することとなり、懸案事項が解決できホッとしたところでもあります。

議員活動も、コロナ禍の影響でいろんな行事が中止され、今のところ思っていた以上の多忙さはありませんが、地域からの要望や個人的な要望にも無難に対応できているのかなと思っています。

まだまだ、実現したいことの種まきをしている状態ですが、焦らず粘り強く取り組んでいきたいと思っています。

いわむらトピック

今年は猿被害が多発！



富田地区では、猿による被害を受けて、地元で対策協議会を組織し、写真の猿檻などで対策を実施してみえます。昨年はほとんど見かけられなかった猿の群も、今年は何度か見かけられ、多い時は9匹が一度に檻に入ったそうです。(捕獲状況)

12/18: 2匹、1/6: 9匹、1/23: 6匹

診療所の男子トイレを改善！



岩村診療所のトイレについて、普段気が付かなかったことですが、車いすでの利用がしづらいというご意見をいただきました。診療所の事務長にその旨を伝え、タイミング良く修繕工事中で追加にて改善工事を実施していただきました。ご意見ありがとうございました。

認可地縁団体をご存知ですか？

地縁団体は、平成3年4月に地方自治法が改正され、自治会が市長の認可を受けることにより、認可地縁団体として自治会名義で不動産登記ができるようになるものです。

市内では、これまでに88の認可地縁団体の登録があり、岩村町内では、本町四丁目、一色、四区に続き、今回、飯峡会館、ふるさと富田会館を市から無償譲渡を受けるため、次の自治会が新たに許可を受けられました。

○飯峡会館
三区自治振興会(三区)

○ふるさと富田会館
ふるさと富田振興会(五区、六区、七区、八区)

次号は、6月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。